

横浜市訪問看護師【小児看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月

簡易版

CDP1段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。
 評価の目安

- 1 『できない』
- 2 『指示や確認がないと行動できない』
- 3 『促しがあれば行動できる』
- 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
- 5 『できる』

CDP1（訪問看護ステーションの基本的機能・役割を知り、スタッフとして同行訪問できる）		回(月日)		
ドメイン	CDP1（簡易版）	未 経 験	自 己 評 価	育 成 者 評 価
	新卒・新任			
在宅看護過程	助言のもと、子どもの成長発達段階における特徴と主な疾患を理解し、必要な医学的管理技術を習得する			
	成長発達を促す遊びの提供が看護援助の一つであることを理解する			
	意思決定能力を評価することが必要な看護援助であることを理解し、理解度に合わせた説明を行って子どもの話を聴く			
社会資源	訪問先の子どもの過ごしを知る ※家庭、保育、教育、社会参加等の場			
	訪問先の子どもを取り巻く人環境、制度、サービスを知る			
	横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターをはじめとする、訪問先の子どもを支える職種を知る			
家族支援	指導を受けて、在宅療養をする子どもを持つ家族の発達段階・特徴・心理状態を理解する			
	対象となる子どもを含む家族全体を支援する役割を理解し、一人ひとりの意思・価値観を知る			
	子どものケアと家族の生活のバランスについて、子ども、母親、父親、きょうだい児の様子・言動から捉える			
自己啓発 ・自己学習	小児訪問看護に関する研修を受講する			
	児童福祉法、障害者総合支援法、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の目的を理解する			

横浜市訪問看護師【小児看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

簡易版

CDP2段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。

- 評価の目安
- 1 『できない』
 - 2 『指示や確認がないと行動できない』
 - 3 『促しがあれば行動できる』
 - 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
 - 5 『できる』

CDP2（訪問看護計画に基づき単独訪問でき、報告、連絡、相談ができる）		回（月 日）			
ドメイン	CDP2（簡易版）		未経験	自己評価	育成者評価
分類	一人立ち				
在宅看護過程	子どもの成長発達段階に合わせ、小児領域の知識を活用した個別的な看護計画を立案し、計画に基づいた医学的管理技術を提供する				
	子どもの成長発達を促す遊びを取り入れた、安全・安楽に配慮した看護を実践する				
	子どもが主体であるという倫理観を基にチームで意思決定支援の判断を行い、理解度に合わせて説明・提案する				
	予期せぬ状況に備えた方針や準備内容を理解し、個別性の高い急変を判断し対応する				
社会資源	制度・サービス	必要な看護を提供するために制度を検討し、在宅療養する子どもとその家族が利用できる社会資源を知る			
	関係機関	横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターをはじめとする在宅療養する子どもを支える関係者や、医療・福祉・保育・教育の場を知る			
家族支援	家族員の発達段階および思いやニーズを把握し、アセスメントする				
	子どもと家族のライフスタイルや価値観を尊重して、子どもの医療的ケアや日常の世話を家族が習得できるようになる過程を支援する				
	子どもの主体的な過ごし方とそれに対応する家族の生活について、母親、父親、きょうだいそれぞれからの思いや考えを聞き、支援ニーズを把握する				
自己啓発・自己学習	人権、倫理、権利擁護について学ぶ				

横浜市訪問看護師【小児看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

簡易版 CDP3段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。

評価の目安

- 1 『できない』
- 2 『指示や確認がないと行動できない』
- 3 『促しがあれば行動できる』
- 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
- 5 『できる』

CDP3（訪問看護計画が立案でき、状況判断に応じた24時間の対応ができる）		回（月 日）		
ドメイン	CDP3（簡易版）	未 経 験	自 己 評 価	育 成 者 評 価
	一人前			
在宅看護過程	長期的視点での体調変化や発達段階、予期せぬ状況を見通して、必要な医学的管理や個別的なケアを提供する			
	遊びの提供を通じて、子どもの状態や子どもが人とかかわる様子から、在宅で子どもらしく過ごさせているかを把握する			
	子どもと家族の意思決定プロセスに参加し、看護師としての意見を伝えるとともに子どもの意思表示を促す			
社会資源	子どもの今後の状況や発達を見据え、社会資源の必要性和活用できる制度をアセスメントし、関係者と調整して社会資源につなぐ			
	横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターをはじめとする、在宅療養する子どもを支える関係者に働きかけ、協力・調整を図る			
家族支援	子どもの変化や成長に伴う家族の関係・役割構築を支援し、家族としての成長を支援する			
	子どもと家族のライフスタイル、価値観、QOL、子育ての方針や急変時の方針を踏まえ、家族の強みと主体性を活かした看護計画を立案・実施する			
	子どもの主体的な過ごし方とそれに対応する家族の生活について、母親、父親、きょうだい児それぞれの考えや希望の違いを把握し、きょうだい児の発達・健康課題ならびに家族機能の発展につながるよう関わる			
自己啓発・自己学習	他事業所と交流し、様々な支援方法や知識を得る			
	自身の看護実践を事例として整理し、報告する			

横浜市訪問看護師【小児看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

簡易版

CDP4段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。

- 評価の目安
- 1 『できない』
 - 2 『指示や確認がないと行動できない』
 - 3 『促しがあれば行動できる』
 - 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
 - 5 『できる』

CDP4（利用者の支援に関する環境整備やチーム作りができる）		回（月 日）		
ドメイン	CDP4（簡易版）	未 経 験	自 己 評 価	育 成 者 評 価
	中堅			
在宅看護過程	将来を見据え、全人的視点から子どものQOL向上に向けた最善の看護を提案でき、子どもの個別的な看護実践の指導に関わっている			
	意思決定プロセスにおいて、揺れ動く子どもと家族それぞれの思いに寄り添い、法的・文化的配慮など多方面から擁護して意思決定できるよう支援する			
社会資源	長期的視野を持って子どもの今後の状況や発達を予測し、必要時に社会資源を調整する			
	横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターと協働し、在宅療養する子どもを支える関係者の立場や役割を理解した上で、関係者との円滑な連携と協働を図る			
家族支援	虐待や不適切養育など、特殊な課題や困難を抱える家族の関係調整・役割再構築を支援する			
	子どもと家族のライフスタイルや価値観を尊重した療養生活継続に向けて、家族の強みと主体性を活かせるよう、医療・福祉・教育の関係職種でチームとなって支援する			
	今後の状況を見据え、家族が子どもの成長発達の促しや医療的ケアの自己管理に向けた関わりがもてるよう支援する			
自己啓発 ・自己学習	他事業所との交流などから得た知識・経験を自事業所での実践に反映する			
	先行研究に照らし自身の看護実践を事例としてまとめ、研究として発表する			

公立大学法人横浜市立大学医学部看護学科、一般社団法人横浜在宅看護協議会、横浜市医療局が作成

横浜市訪問看護師【小児看護】キャリアラダー・発達別訪問看護師チェック表 R8年3月版

簡易版

CDP5段階

評価基準：各CDPの評価項目ごとに、「未経験」の場合は○をつけ、
 その他は自己評価に1～5の5段階でチェックする。

評価の目安

- 1 『できない』
- 2 『指示や確認がないと行動できない』
- 3 『促しがあれば行動できる』
- 4 『多少の促しは必要であるが行動できる』
- 5 『できる』

CDP5（訪問看護の質の向上に関わり、リーダーシップをとることができる）		回(月日)		
ドメイン	CDP5（簡易版）	未 経 験	自 己 評 価	育 成 者 評 価
	達人			
在宅看護過程	「個別避難計画」や「わたしの災害対策ファイル」を活用し、災害などの予期せぬ状況に備えた、ネットワークづくりを行う			
	対象者（子どもと家族）および関わる人々の多様な価値観を尊重しながら、関係者間を調整し、倫理的問題を解決に向けて関わる			
社会資源	その子どもと家族らしい生活や社会活動が継続できる方法を模索し、必要時に社会資源の調整する			
	横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターに準じる役割を担い、在宅療養する子どもを支える関係者の立場や役割を理解した上で、関係者との地域のネットワークを構築する			
家族支援	虐待や不適切養育など、特殊な課題や困難を抱える家族を多職種で支援する体制を構築する			
	子どもと家族のライフスタイルや価値観を尊重した療養生活継続に向けて、家族の強みと主体性を活かせるよう、医療・福祉・教育の関係職種と連携した地域のネットワークを構築する			
	子どもと家族の自律に向けて、子どもの主体性を尊重した行動がとれるよう、家族を支援する			
自己啓発・自己学習	これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるために、新しい知見を得たり、外部と積極的に交流する			
	看護師の看護実践を研究としてまとめるプロセスを支援する			

公立大学法人横浜市立大学医学部看護学科、一般社団法人横浜在宅看護協議会、横浜市医療局が作成